

第3回ボランティア・レンジャー「エゾマツ会」総会報告

副会長 大友 健

釧路支庁管内、標茶町青少年体育センターにおいて開催した第3回「エゾマツ会」総会の概要を報告致します。

総会出席者18名、委任状45名により総会成立宣言があり、会長挨拶・議長選出・経過報告・議事と会の発展のため2時間余りに及び熱心な討議をしました。

昭和62年度関係の事業報告・決算報告にあつては、主要事項となる8月の第2回総会及び10月の会員研修会、そして63年6月の環境週間行事における野幌森林公園自然観察会参加の内容によれた説明があり、これに伴う決算報告共々全員了承しました。

昭和63年度事業計画にあつては、64年6月の野幌森林公園における環境週間行事への積極的な参加をどうすべきか、「エゾマツ会」主催による観察会を札幌近郊町村にまでフィールドを求めるべきであるとか、そのためには会員研修を怠る必要がある事を確認すると共に、私共の唯一の情報交流誌である会報の内容充実に向けて語り合い、これらの行事の執行及び突續確保のため、更に今後の会の発展を期し、会の名称を“北海道ボランティア・レンジャー協議会”と改め同封の会則にあるように、組織も総務部・研修部・広報部の3部制とし、部会による企画・執行計画案を基盤し、将来の組織拡大に対処することとしました。企画・執行・調整にあたる各役員については、各期より選出することとし、新役員については、別紙の通り承認されました。

その他の事項として、会員数の拡大に移めるとともに、会員数の把握と会費未納者に対する取扱について意見が交わされました。

更に、来年の第4回総会については、出席者の確保及び地理的条件も考慮し、多数の会員出席のもとで、会の活動について討論し、総会の意義を深めることを申し合わせました。以上概略を記しましたが、現会員の皆様・そして新会員となつていただき、第3回育成研修会に参加された皆様のご理解と絶大なご協力により、本協議会の目的達成に務めたく思いますので、宜しくお願い申し上げます。

収入の部

項目	予算額	内訳	備考
会費	210,000	300人×70名	I期 35% II期 20% III期 15%
繰越金	84,656		
雑収入	0		
合計	294,656		

支出の部

項目	予算額	内訳	備考
会費	100,000	税金 20,000, 研修会 40,000, 役員会 40,000	
通信費	55,000	はがき, カキ, 電話料等	
研修費	50,000	講師謝礼 30,000, 懇話会費 20,000	
印刷費	30,000	会誌印刷, 用紙	
事務費	35,000	本籍団正(謝儀・名札他)	
予備費	24,656		
合計	294,656		

昭和62年度 会計決算報告書

第2号議案 別紙

注) 期間は、昭和62年 8月 1日より

収入の部

昭和63年 6月30日までとする。

項目	予算額	収入額	差額	備考
会費	178,000	186,000	△ 12,000	3,000円×62%
繰越金	24,434	24,434	0	
雑収入	0	5,481	5,481	61年会費(1500円)、利息、寄付(500円)
合計	222,434	215,915	△ 6,519	

支出の部

項目	予算額	執行額	残額	備考
会費	90,000	61,374	28,686	総会、役員会
通信費	40,000	37,500	2,440	切手
研修費	25,000	21,884	3,116	親友会(消通系)、講師謝礼
印刷費	30,000	5,000	25,000	印刷費
事務費	15,000	5,501	9,499	封筒、領収書用紙
予備費	22,434	0	22,434	
合計	222,434	131,259	91,175	△63年繰越繰越金 215,915 - 131,259 = 84,656 (株利) (株利)

第3号議案 別紙

監査報告書

監査の結果 領収書等確認のうえ上記収支に相違なし、残高については預金通帳及び現金により確認した。

昭和63年 7月 20日

監査員

大杉三郎

監査員

小山賢一郎



研修会の感想 (標茶町)

竹本幹彦

一度は行って見たいと願っていた道東方面であり、研修のためとはいえ早く実現できるとは思わなかった。特に釧路湿原が国立公園になり話題も多く、霧と丹頂鶴をこの限でたしかめたかった。宿泊所の定員から第3回の研修生とは別の宿舎となった標茶町青少年体育センターは非常に静かな所で、周辺は木々や野草もたくさんあり、勉強にはふさわしく恵まれていた。30日早朝に、センター周辺に出て見るとハリオイワツバメ・ゴジュウカラ・アカゲラと動きが激しいながらも見る事ができた。

戦時中軍馬の育成地としての広い牧場があり、牧草としてのチモシーがいまも生い茂り時の流れを思った。ここよりすぐの沼に出て見ると、多くのキャンパーが朝食作りにいそがしそうであった。望遠鏡で見ると沼の端の浅瀬に鳥が一羽いた。よく見るとアオサギであった。こうしてセンター周辺の牧場に軍馬の草を食む姿を思う。やがては戦地へ行って活躍し再びかの地を踏んだ馬はいるだろうか。

この地で、その地方での自然環境はそれぞれ違っていることを知る。

自然は無言のうちに、森に、鳥に、沼にそれぞれ表現しているのだ。

人々の「力」のおよばない自然の「力」を。

この自然の神秘や「力」を自然と人々の間に立って伝えたい。

懇話会に参加された人々が、それを学び感動してくれたらと。願わくは、これくらいのハイレベルのレンジャーになりたいものと思う。

網走展望台よりの釧路湿原もすばらしいものであった。丹頂鶴二羽がすぐ近くに。また、コッタロ展望台も前者とちがった景観であった。好天に恵まれながらもかも初めての体験であった。しかし、自分で感動ばかりしてはいられない。最終日の野外演習に身近なものをテーマとすること、素朴な疑問を持つように、感動を与える、そして持つことと指導された講師の言葉を心に今後とも勉強し続けたい。

朝8時、時計台の横に大友さんの車が止まる。乗っているはずの会長の姿がない。今日の“北海道歩こう会”に狩り出されたとの事。我々の会も、ずい分成長したと思う。会長が欠席でも「え、こちらが本命では」とは言うものの、ちっとも慌てることもない。人材が豊かになってきているのでしょう。今日は、副会長の太友さんがいます。太友さんの弁舌はいつも流暢で散服するばかりです。9時、現地着。まもなく加藤・山本のお二人がくる。加藤さんのスーパーの袋の中は、先日下見の折りほのめかしていた“しおり”だ。8月に野幌の観察会で五十嵐さんが製作されたものを参考に作ったという。頼もしい人が又一人いた。10時、開会の時間。参加者は10人位か？主催者の（支庁）胸中やいかに。我々ボランティア・レンジャーの出席者は7名です。

突如、新聞記者の応対に呼ばれるが、横あいから住吉さんがテキパキと対応してくる。この分では、参加者も我々レンジャーも班分けはいらぬ。キノコ博士の大杉さんと虫博士の村上さんを講師に我々レンジャーにとつてもまたとない勉強の機会だ。朝、家を出たときの緊張は、もうない。主催者挨拶の後、太友さんが会を代表して挨拶、早速出発。太友さんは、会長不在の責任も感じてか、長年携わってこられた林業に関する話が名調子で続く。先日来の雨のせいかなキノコがちらほら。大杉さんの説明を聞きながら進むうち「たまご茸」の声。一同そのあざやかな朱色に歓声。カメラを向ける人・調理法を聞かまさま。テング茸をはじめ色々なキノコがみつかる度「大杉さん」「大杉さん」の呼び声にも、大杉さんは慌てず、ゆっくり静かな口調で図がんと開いて解説してくれます。実直で温厚な人柄がどこまでも変わらないのです。ところで住吉さんが、草花の解説をしています。理路整然と、さすがも先生です。住吉さんの勉強よりはすごいもので、先日下見の折りいただいた利根別のパンフレットに出でくる植物を図鑑で調べ直しメモを作り赤まで入れてあるのです。早晩彼女も我々の植物博士になることでしょう。村上さんは虫博士です。食草の関係からか、植物にも大変明るい方です。今日は虫食いの一つであるブドウエボシタマバエ、ブドウの葉に赤い先の尖がたいぼいぼを造ります。割るとオレンジ色をした1~2mmの幼虫がいました。昼食後出発に先立ち「一口森林講座」と「虫クイズ」キリギリスの腹に剣のあるのはメスかオスか等。私の関心事は鳴くオスはともかく、メスを短時間にどのようにして捕えたのか？そういえば、野幌の観察会でもいつのまにか珍しい蝶を採取してみせてくれました。帰路は予定時間オーバーで大急ぎです。ところが又々たまご茸の群落。群落なのです。キノコの命はせいぜい一週間。菌を残すためナイフを使うのがマナーとの事。ほしい人は少しづつお土産に持ち帰ることにしました。ところが、歩道に戻ったところ真っ白なアヒルの卵くらいのもものが立っているのです。割れかかった中からみえる糞子は黒味を帯た茶色。テング茸でもないようです。一般参加のご婦人とためつすがめつ。気がつくと仲間には先に、近くに山本さんが待つていてくださり「僕がしがりを勤めます」と一言。何時も静かで無口な方なのですが、会報2号に寄せられた文中の「おやじの姿」という言葉がふいに頭に浮かんできました。ところで八戸さんはどこにいらしたのですか。今朝は一番乗りでしたのに、さっぱり声がしなかったような？そういえば、八戸さんも、とても無口な方なのです。でも今年の総会では、議長をして下さり思慮深いとてもレナイな方と見受けました。そして私は、ボランティア・レンジャーであることをすっかり忘れ本当に楽しい一日でした。



夏の野幌森林観察会にて

加藤清春

野幌森林公園での観察会の当日は、札幌地区を二分したような天候で西側は晴れ、野幌森林公園のある東側は小雨とといった天候で観察会の開会が危ぶまれる感じでした。しかし開拓記念館ロビーには沢山の参加者が集まっていました。我々ボランティア・レンジャーの出席も9名と秋の観察会へ向けての意気込みが感じられました。

主催者側の挨拶の後、一般参加者130人余りを5班に分け、我々ボランティア・レンジャーが2人ずつペアになって担当し、小雨の中を出発です。

目的地は大沢園地、片道4キロの道程です。私達ボランティア・レンジャーは、それぞれの得意とする分野の説明をし、また教えられながらどんどん盗みます。オオハシゴソウの群落を見て歓声をあげ、ツルリンドウやトリカブトの花を見たりです。時期としましてはもう初秋なのでしょう。何かそんな感じを抱かせる風景が多かったように思います。この時期は花も少なく、どうしても木の話が中心になり、私の属した班では、大友副会長、長木、ついで説明に皆さんの熱心に耳を傾けていました。まもなく紅葉も深まり落ち葉等が散らされる時期ですが、類似種の葉のスケッチをのせますので参考になさって下さい。



ヤマモミジ



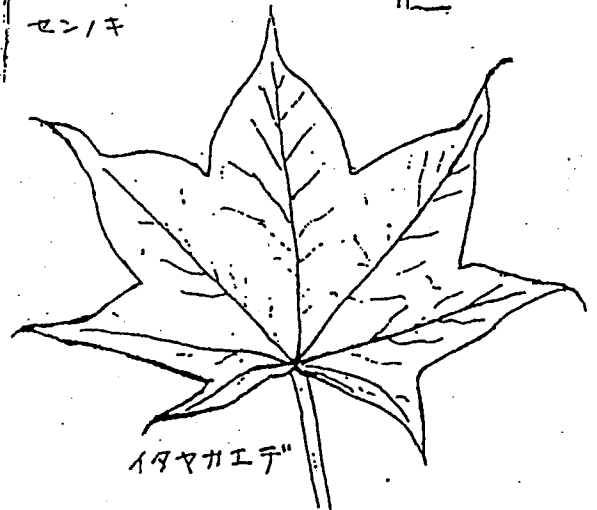
センジ



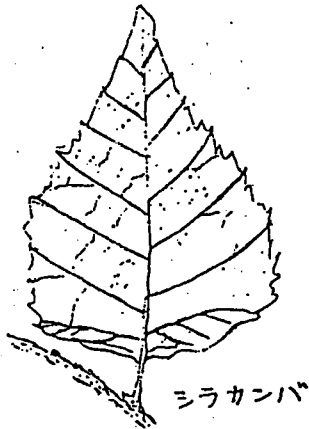
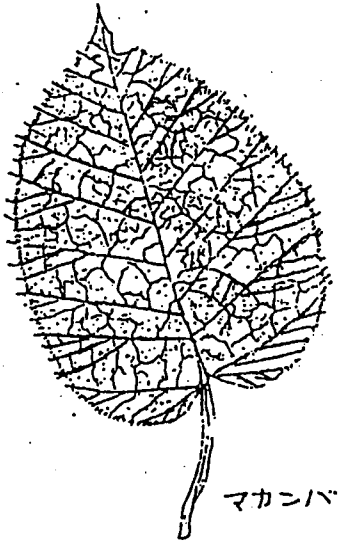
ハタケカエデ



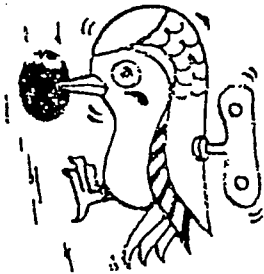
ベニイタヤ



イタヤカエデ



スケッチは河村会長の手によるものです



☆楽箱☆給飼台を作りますか

日時 11月20日(日) 10時~14時

場所 札幌市立登明高等養護学校
札幌市豊平区豊平5条7丁目

持ち物 大工道具(かなづち・釘など) 弁当

※ 材料は用意します 費用 1,500円程度(実費)

申込 11月10日まで、山上 電話 011-821-3080まで
お申込下さい。

※ 車は駐車場が有りませんので、ご遠慮ください。

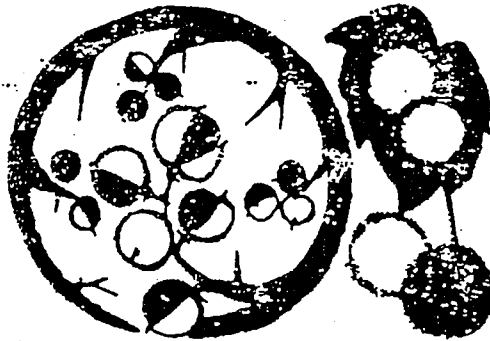
※ 詳細は申込の際電話でご連絡致します。

新役員紹介

会長	河村 千東 (1)		
副会長	大友 健 (1)	高橋 美智子 (1)	
総務部	○ 野月 肇雄 (2)	小竹 数博 (1)	
	八戸 克美 (2)	杉田 龍男 (2)	
研修部	○ 村上 紀道 (2)	五十嵐 博 (1)	
	吉野 明彦 (1)	松田 潤 (2)	
広報部	○ 小山 賢一郎 (1)	山上 光一 (1)	
	加藤 清春 (1)	玉田 紀美子 (1)	
監査	大杉 三郎 (1)	住吉 光子 (2)	

○印は部長 氏名の後の () 内の数字 1 期、2 期の意味

尚、3 期生の入会を持って各部へ若干名の 3 期生の役員が加わる事が総会で承認されていますので、3 期生の役員の方については次号でお知らせします。



会の動き

8月21日	野幌森林公園夏の森林観察会	9名参加
	ボランティア・レンジャーとして活躍	
9月7日	役員会	15名出席
9月11日	利根別自然観察会 (岩見沢)	7名参加
	ボランティア・レンジャーとして活躍	
9月25日	手稲山登山 (会員研修会)	6名参加

研修会と観察会のお知らせ

第3期の新会員を迎え、次の日程で研修会と観察会を行います。

1日めは、会員のための研修会で講師は野生生物情報センターの三木 昇さんです。2日めは、野幌の森林公園を舞台に野幌森林公園事務所と我々の会が共催で行う観察会です。

日程は2日間ですが、どちらか1日だけの出席でもかまいません。新会員の方をはじめ多数の方のご出席をお待ちしています。

記

10月22日 (土) 小雨決行

- 3:20 北大植物園前集合 (札幌市北3条西8丁目 道庁西側)
- 13:30~15:30 野外観察
- 15:30~18:00 移動 休憩
- 18:00~17:30 講演 スライド
- 18:00~20:00 懇親会 (有志・会費三千元程度)



10月23日 (日)

- 9:00 野幌森林公園開拓記念館前集合
- 9:30~15:00 観察会

(リーダーは複数にしますので気軽に参加してください)

☆ 持ち物 弁当 双眼鏡 図鑑

☆ 交通機関 地下鉄新札幌駅より JRバス 8:40発「開拓の村行き」に乗車「開拓記念館前」下車

☆ 参加者は10月15日まで担当の高橋 電話 0133-74-2058 までご連絡ください。

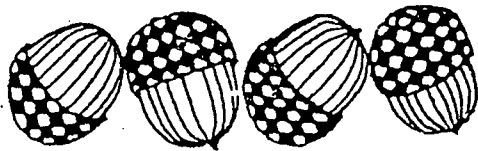
☆ 宿泊希望の方は参加申込の折り申し出てください。

<講師紹介>

三木 昇 (江別市在住)

野生生物情報センター運営委員 日本野鳥の会札幌事務局

自然を理解できる人を増やすための活動をしているナチュラルリスト



入会申込と会費納入について

この度の会則改定により（会則第5条）入会は、北海道ボランティア・レンジャー育成研究会受諾者で会費を納入したもので構成するを受け、会費の納入により入会申込及び継続会員として手続きがなされたものとなります。

63年度会費は 3,000円です。同封の振込用紙にて、10月末日までに納入してください。

郵便振替口座

番号 小樽 8-21442

名称 北海道ボランティア・レンジャー協議会

現金納入等不明な点については、会計までお尋ね下さい。

〒 065 札幌市東区東苗穂6条1丁目

小竹 敬 博 電話 011-784-6251



★原稿募集★

原稿を募集しています。

特に、新会員となられた方の会に対する希望など歓迎します。

宛先 〒 063 札幌市西区福井1丁目14-21

小山 賢 一 郎



----- 編集後記 -----

標茶の総会で、役員改選がおこなわれ広報部の陣容も強化されました。部長をはじめ、広報担当でワープロのカタログ集めをした方もいたり、一同大変ハリキッテいます。よろしくお願い致します。